

学位論文審査の結果の要旨

平成 28 年 1 月 19日

審査委員	主査	鈴木康之		
	副主査	舛形尚		
	副主査	辻晃仁		
願出者	専攻	分子情報制御医学	部門	病態制御医学
	学籍番号	12D742	氏名	西山典子
論文題目	Efficacy and safety of over-the-scope clip: including complications after endoscopic submucosal dissection.			
学位論文の審査結果	<input checked="" type="radio"/> 合格 <input type="radio"/> 不合格 (該当するものを○で囲むこと。)			

〔要旨〕

【背景】近年、消化管癌に対する外科治療に変わる治療法として、粘膜下層剥離術(ESD)や腹腔鏡・内視鏡合同手術(LECS)の様な内視鏡治療が出てきた。しかし、内視鏡治療における合併症である消化管穿孔に対しては標準的に外科手術が適応とされて来た。全創縫合器であるOver-the-scope clip(OTSC)の登場と共に、欧州では消化管出血、穿孔、瘻孔へ使用され、その経験や価値が報告されて来た。2011年11月より本邦でも、OTSCの薬事が認可された。当院では認可と同時にOTSCを使用して来ており、当院での使用結果をまとめて報告する。またOTSCのESD後穿孔への完全縫縮における有用性を報告する。

【目的】当院香川大学病院における、OTSCの使用結果及びESD術後穿孔への治療の可能性について、後ろ向き検討を行う。

【方法】当院にて、2011年11月～2012年9月までに消化管出血、瘻孔、穿孔へOTSCを使用した23人を対象とした。創部最大径は創部長径と定義した。OTSCの使用数は創部を完全縫縮するまで使用した。病変辺縁を把持するため全症例にツイングラスパーを使用した。食道、大腸には9mm径クリップを、胃、十二指腸、直腸には10mm径クリップを使用。縫縮成功率や合併症を評価した。臨床的な縫縮成功率はOTSCのみにて完全に縫縮できた症例を検討した。すべてのOTSCは十分なICのうえ、二人の医師で行われた。ESD後穿孔におけるOTSCの使用部位は、穿孔口のみならず、潰瘍底ごと縫縮を行った

【結果】OTSC使用患者は合計23人、平均年齢は77歳であった。使用症例内訳は、消化管出血9例、穿孔10例、瘻孔4例、十二指腸ESD後に予防縫縮した症例1例であった。一人は、グリセリン浣腸後、穿孔しその後瘻孔を生じた症例であった。OTSCだけ使用し、完全縫縮成功した症例は19例であり、全体の82%であった。不成功に終わった主な要因として、20mm以上の巨大な創部や、1週間以上の慢性期症例が挙げられた。不成功に終わった症例の場所はすべて胃であった。平均術時間は18分、平均観察期間は67日であった。観察期間内において、OTSCを使用した事による合併症は認めず。またESDに使用した6例すべて、OTSCにて縫縮は成功した。

【結語】OTSCは消化管出血、穿孔、瘻孔に有用である。またESD後穿孔にも有用である。

本学位論文は消化管出血、穿孔、瘻孔に対して、従来の外科手術に変わる低侵襲治療法として、新しく国内で認可された内視鏡治療デバイスであるOTSCを用いて臨床試験を行い、その治療成績を示し、有用性と治療限界について検討したものである。

平成28年1月19日に開催された学位論文審査会では、主査、副主査、指定討論者から、以下のような質問があった。

- 本臨床研究における手技の基本的な適応と、今回の検討から今後の適応について(病変のサイズ、部位等による制限)
- OTSCによる全層把持の重要性と術中の確認方法について
- OTSCによる修復部の治癒過程の検討(動物実験結果も含めて)
- より大きな病変に対する手技・デバイスの改良について
- 長期成績と有害事象(狭窄やOTSC停留)について
- 硬化した慢性病変の治療成績が相対的に低い機序について
- 成功率に関与する患者の要因について(ADL, 栄養状態など)
- Pure NOTESへの応用について

上記の質疑に対し西山典子氏は適切に対応し、同氏が主動した研究であることが確認された。以上より、西山典子氏は医学の領域において研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な研究能力とその基礎となる学識を備えた研究者であると判断し、主査・副主査の3名全員一致で合格と判定した。

掲載誌名	World Journal of Gastroenterology		第 19 卷, 第 18 号
(公表予定) 掲載年月	2013年 5 月	出版社(等)名	Baishideng Publishing Group

(備考) 要旨は、1, 500字以内にまとめてください。